

## 岡山大学学歌

♩ = 112 おおらかにかがやかしく  
久坂 恭・作詞  
松本民之助 作曲

やまのみなみに ひかりあふれて つど  
いよーひとみあかーるし あおぎみる  
はるけきかなた おおいなりもゆるのぞみはと  
おくとも そをまなびてもと めん

- 一、山の南に光りあふれて  
つどいよる ひとみあかるし  
仰ぎみる はるけきかなた  
大いなり もゆる望みは  
遠くとも そを  
学びてもとめん
- 二、内海のほとり 風はさやかに  
つどいよる いぶきは深し  
胸をはり まゆをあぐれば  
いやたかし むねの誇りは  
ふかくひめ そを  
学びてまらん
- 三、まがねふく国 名はふるくとも  
古の ふみをつたえて  
うちたてん とこしへの道  
きわみなくそを  
学びてたてん

## 岡山大学学生歌

(昭和28年度)  
元気にも味深く  
三沢 信弘 作詞  
宮原 禎次 作曲

われらは あつ—まり はんだやまの やますそに  
こがらしが すさぶなかをわれらのまなびやを  
ま も ろ う お お お か  
だ い わ れ ら の も の

- 一、われらはあつまり  
はんだ山の山すそに  
こがらしがすさぶ中を  
われらの学舎(がくしゃ)を守るう  
おお岡大われらのもの
- 二、われらはあつまり  
ひろい校庭の一面に  
もえたつ若木のように  
われらの未来を語ろう  
おお岡大われらのもの
- 三、われらはあつまり  
われらのうたをうたおう  
自由と平和のために  
まなびゆくわれらのうたを  
おお岡大われらのもの

### 学歌について

昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったため、教育学部久坂教授に依頼し、歌詞を制定した。

その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も入選作品がなかったため、東京芸術大学名誉教授松本民之助氏に作曲を依頼して、現在の学歌ができあがった。

### 学生歌について

昭和28年度学友会(現:校友会)委員から学生歌を作成したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱してさらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。

選考委員会で諮った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、作曲は宮原禎次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。

その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生歌が作られている。



岡山大学

平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ヶ谷佳正教育学部教授による作品  
このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。